

**問** のりあい交通の改善要望にどう応えるか

多くの市民から、①日曜・祭日の運行と運行時間帯を拡大してほしい、②利用頻度の高い近隣市町の病院にも行きたいなど改善を望む声が多い。どう対応するのか市の見解を伺う。

**答** 今後も協議会において検討していく

様々なご意見をいただいているが、まずは市外の一部の医療機関について現在運行に向けて調整を行っている。今後も定期的に市民の声を十分調査し、運行内容に反映できるよう、白岡市地域公共交通会議及び白岡市地域公共交通確保維持改善協議会で検討していく。



石渡征浩 議員  
(TSUNAGU)

**問** 放課後子ども教室を早急に拡大すべき



児童の放課後の居場所を目的に、現在、放課後子ども教室を菁莪小学校で実施しているが、開催が月に1回と少ない。少なくとも週に1回は実施する必要がある。また、市内6小学校全てに早急に拡大すべきと考えるが、今後10年間の計画について伺う。

**答** 関係者等と調整・検討し、拡大していく

放課後子ども教室の実施回数については、スタッフ、学校等と調整しながら、実施方法等を検討した上で増やしていきたい。また、5年後の8年度には小学校3校、10年後の13年度には6校全ての小学校で実施できるよう進めていく。

**問** 市の配布物が全世帯に届くことを期待

2022年3月に発行される改訂版ハザードマップの全世帯への配布を期待したが、現在の配布体制では1割強の世帯には届かない。行政区を通じての配布体制には限界がある。他市町村等の事例の調査・研究を進め、配布体制の見直しを強く求める。

**答** 他の自治体の取組を収集し検討していく

改訂版ハザードマップは市の広報紙と併せて配布するほか、市内公共施設に設置予定である。また、市の公式ホームページへの掲載や、安心安全メール等で周知する予定である。今後、広報紙等の配布方法について他の自治体の取組などを情報収集し、検討していく。



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)

**問** 特別支援学級にゆとりを



近年、特別支援学級に在籍する児童生徒が急増している。現在の国の学級編成標準では対応できない事態が想像される。標準の引き下げ要請や県レベルでの弾力的な運用、必要に応じた支援員の配置とその経費の国費・県費負担の要請をお願いする。

**答** 学校全体で特別支援教育の充実を図る

編成基準の見直しや県の弾力的運用、支援員の経費の補助については、今後も引き続き要望していく。特別支援教育の充実を学校運営上の学校全体としての課題と捉え、教職員の特別支援教育に対する理解促進を図り、学校における特別支援教育の充実を目指す。